

交通の利便性向上についての調査結果

市政モニターの皆さまを対象に 2020 年 1 月に「交通の利便性向上」についてご意見をお聞きしました。ご回答して頂いたモニターの皆さまには、厚くお礼申し上げます。

■有効回答率：79.1%（有効回答者数：345 人）

■有効回答者の構成割合について

男性：44.3%、女性：54.8%、無回答：0.9%

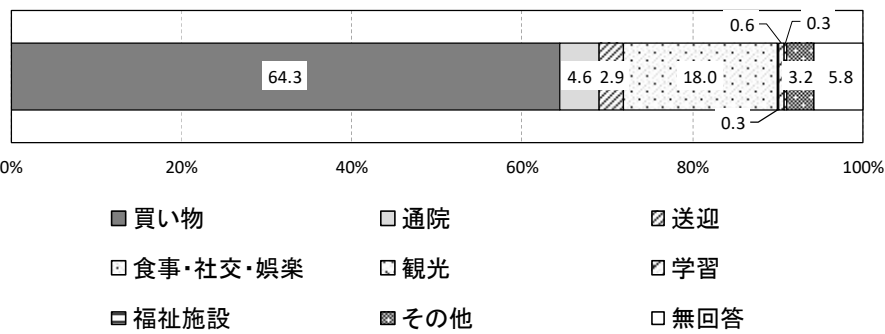
10 歳代：2.3%、20 歳代：6.7%、30 歳代：12.5%、40 歳代：18.0%、50 歳代：18.6%、60 歳代：18.0%、

70 歳代：14.8%、80 歳以上：8.7%、無回答：0.6%

現在の外出状況について

問 通勤、通学以外での私用目的の外出として、最も多いものをお答えください。（いずれか 1 つ）

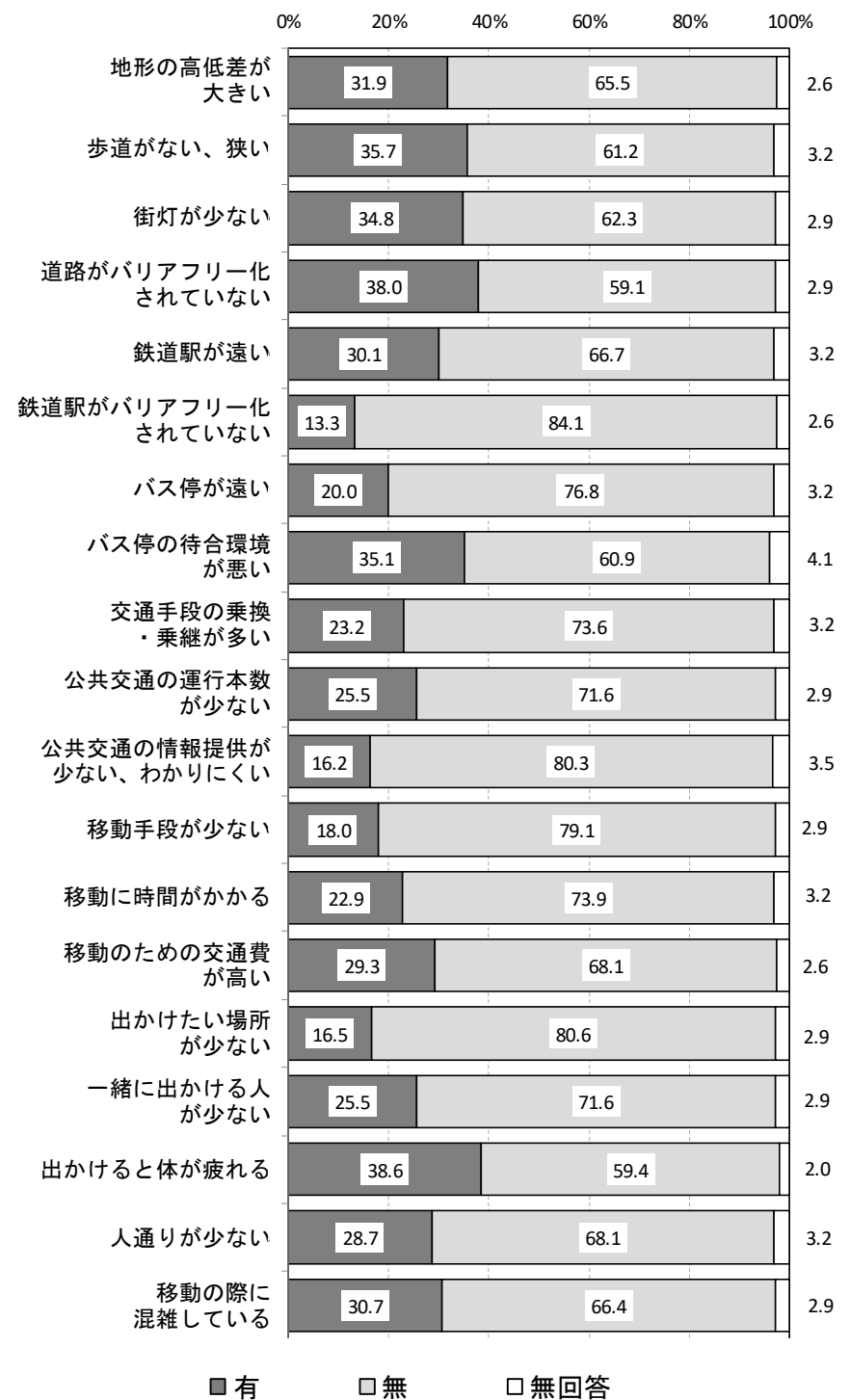
私用目的の外出としては「買い物」が最も多く 64.3%、次いで「食事・社交・娯楽」が 18.0%となっています。



外出する際の支障について

問 外出する際に支障となる要因の中で、自宅周辺の状況やご自身の状況にあてはまるものはありますか。項目ごとに「有」または「無」のどちらかに○をつけてください。

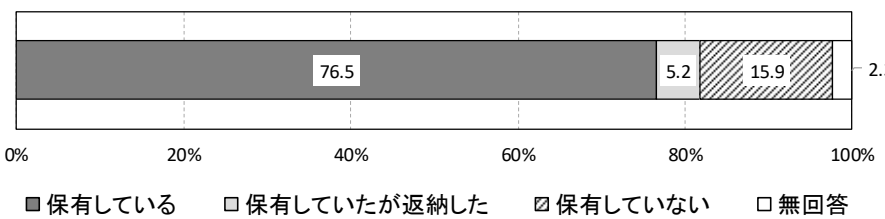
外出する際に支障となる要因として、「出かけるのと体が疲れる」が最も多く、38.6%となっており、次いで「道路がバリアフリー化されていない」が 38.0%となっています。



自動車の運転について

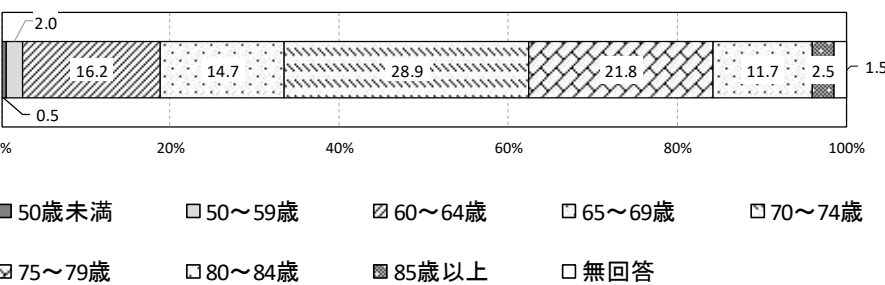
問 運転免許証（二輪・四輪含む）は保有されていますか。（いずれか 1 つ）

運転免許証を「保有している」と回答される割合は 76.5%となっています。「保有していたが返納した」と回答される割合は 5.2%となっています。



問 将来何歳までご自身で自動車を運転して出かけようと思いますか。（いずれか 1 つ）

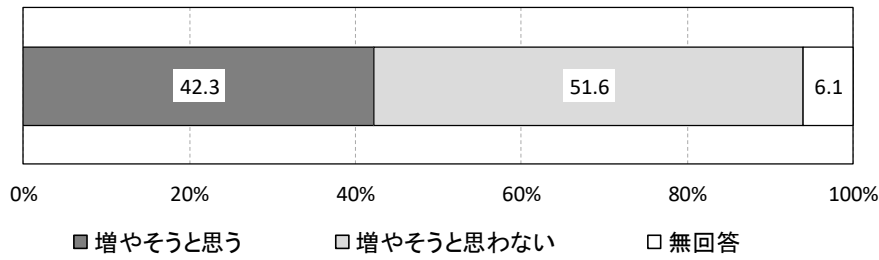
ご自身で運転して出かけようと思う年齢の上限について、「70～74 歳」が 28.9%で最も多く、次いで「75～79 歳」が 21.8%となっています。



バスを利用した外出について

問 今後、路線バスは利用者の減少や運転士不足などの影響により、運行本数の減少や路線廃止等が考えられます。公共交通機関を維持するために、公共交通機関の利用を増やそうと思いませんか。(いずれか1つ)

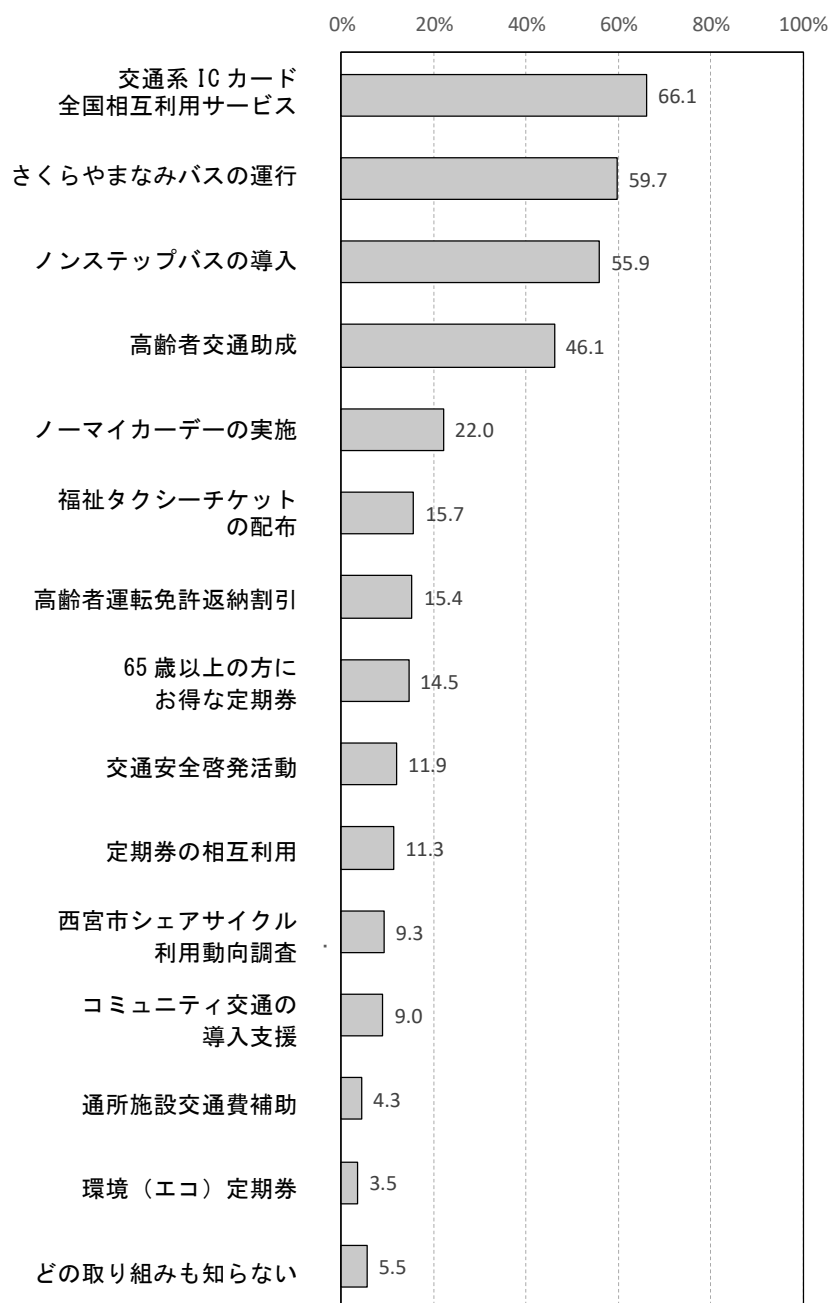
公共交通機関を維持するために、公共交通機関の利用を「増やそうと思う」と回答される割合は42.3%となっています。



外出機会の充実にむけて

問 西宮市内では現在、行政や公共交通事業者が下記のような取り組みを実施しています。ご存知のものをお答えください。(あてはまるもの全て)

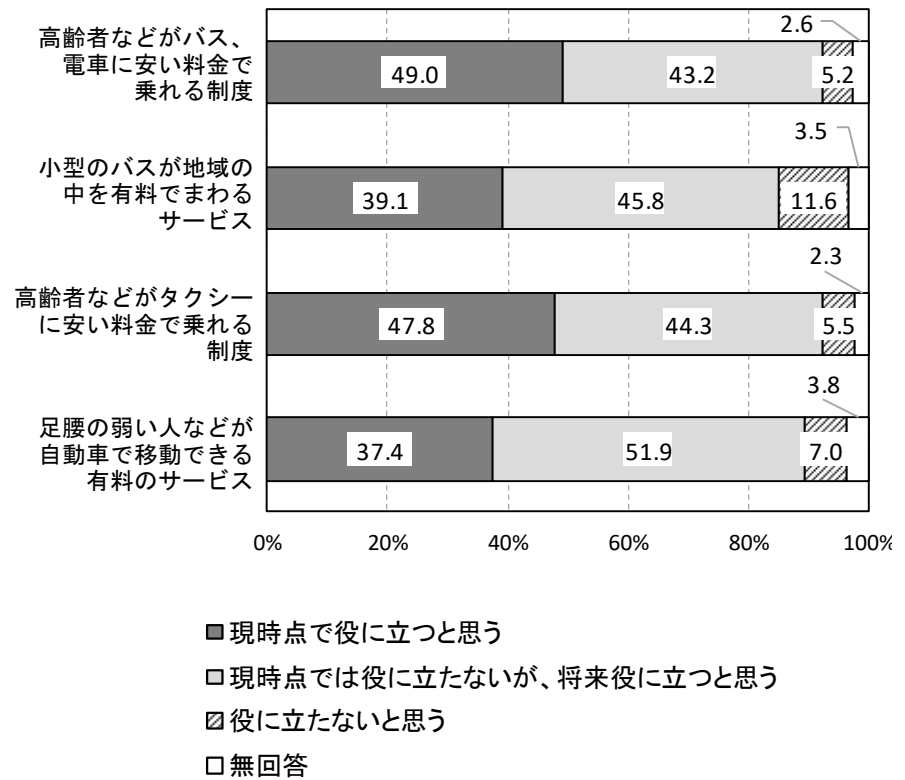
西宮市内で行われている取り組みのうちご存知のものについて、「交通系 IC カード全国相互利用サービス」が66.1%で最も多く、次いで「さくらやまなみバスの運行」が59.7%となっています。



問 次の移動支援制度やサービスについて、ご自身にとって役に立つと思いませんか。項目ごとに1つ〇をつけてください。

移動支援制度やサービスについて、「現時点で役に立つと思う」割合は、「高齢者などがバス、電車で安い料金で乗れる制度」が49.0%で最も多く、次いで「高齢者などがタクシーに安い料金で乗れる制度」が47.8%となっています。

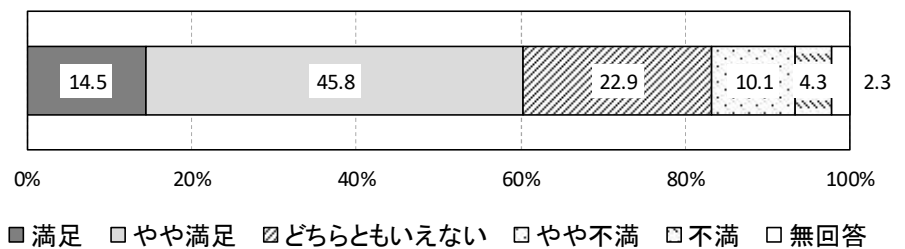
「現時点では役に立たないが、将来役に立つと思う」割合は、「足腰の弱い人が自動車で移動できる有料のサービス」が51.9%で最も多く、次いで「小型のバスが地域の中を有料でまわるサービス」が45.8%となっています。



まちの満足度について

問 西宮市総合交通戦略では「みんなが暮らしやすく、お出かけしたくなるまち」という将来都市像を設定しています。このようなまちとして、現在の西宮市の「まちの満足度」をお聞かせください。(いずれか1つ)

「みんなが暮らしやすく、お出かけしたくなるようなまち」として、「満足」、「やや満足」の割合は合計で60.3%となっています。



一部の設問について、選択肢を省略して記載しています。各選択肢の構成比(%)は小数点第2位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、「あてはまるもの全て」と表記された設問は選択肢の構成比(%)の合計が100%を超える場合があります。